

2025 年 5 月 9 日

株式会社栄和機工による 「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」のご利用について

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、株式会社栄和機工（本社：山口県下松市、代表取締役 柳 和彦）に「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」をご利用いただき、サステナビリティ経営方針の策定をご支援しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【企業概要】

会 社 名	株式会社栄和機工
所 在 地	山口県下松市西豊井 10174-1
代 表 者	柳 和彦
業 種	設備工事業
事 業 内 容 等	機械器具設置工事、鋼構造物工事、とび・土工工事、管工事
サステナビリティ 経営方針 【詳細：別紙 1】	当社はお客様の満足を第一に考え業務に取り組んでまいりました。お客様をはじめとするステークホルダーの皆様これまで培ってきた技術、これからの時代に必要とされる技術を活かし「事業を通じた環境保全」に今後も取り組んでまいります。また、サステナビリティ経営の実現には、従業員の力が最も重要であると認識しており、健康経営に向けた取組みや技術の継承・育成にも力を注いでまいります。 【重要課題】 1. 環境への配慮 2. 品質の維持・向上 3. 地域企業としての成長 4. 安心して長く働くことができる職場づくり 5. 「安心」と「安全」の提供 6. DX の推進 7. コンプライアンスの徹底

※「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」の概要は別紙 2 をご参照ください。

以上



広島銀行では、SDGs への取組みを強化しております。

【SDGs（Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標】

2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行
営業企画部 法人企画室
TEL (082) 247-5151（代表）



株式会社栄和機工の サステナビリティ 経営方針

【別紙 1】

持続可能な
社会の実現へ

Message :

当社はお客様の満足を第一に考え業務に取り組んでまいりました。お客様をはじめとする
ステークホルダーの皆様これまで培ってきた技術、これからの時代に必要とされる
技術を活かし「事業を通じた環境保全」に今後も取り組んでまいります。
また、サステナビリティ経営の実現には、従業員の力が最も重要であると認識しており、
健康経営に向けた取り組みや技術の継承・育成にも力を注いでまいります。

社会価値・経済価値創出

目標値

事業活動

マテリアリティ

取組方針

経営資本

財務資本
自己資本比率
約81%

物的資本
本社事務所
周南工場

ミッション

昔からの受け継がれた技術、これからの時代に対応できる技術を活かし、それぞれの現場に応じた業務に一つ一つ一生懸命に取り組む

ビジョン

環境対策・地域社会貢献活動を通じて、常に必要とされる企業を目指す

企業理念

バリュー

「安全という安心」をモットーに、お客様により良い品質を提供し、安心・信用をして頂く

プリンシプル

円転滑脱：物事がすらすらと円滑に進んで滞らないこと。
一生懸命：命がけて真剣に物事を行うこと。
和気藹々：和やかな気分が満ちあふれていること。

外部環境

人的資本
配管工事に関する
高い熟練度と経験
を持った従業員

知的資本
ISO45001
機械器具設置工事
のスキル

関係資本
大手企業との
安定的な取引

1. 環境への配慮

事業活動における
環境負荷の低減に向けた
取組みの実践

2. 品質の維持・向上

・有資格者の拡充による
品質の維持・向上
・高い品質管理体制の確立と
継続的改善に向けた取組み
の強化

3. 地域企業としての成長

プラント設備製作から据付
まで「一貫生産体制」の
ビジネスモデルを確立し、
地域にとってなくてはなら
ない企業を目指す

4. 安心して長く 働くことができる 職場づくり

・チームワークを大切に
従業員が心身ともに健康に
明るく活き活きと働ける
職場環境の整備
・従業員とその家族の生活水準向上

5. 「安心」と 「安全」の提供

・現場における基本ルールを
遵守し、無事故・無災害で
完工を目指す
・労働安全衛生水準の維持・
向上による「安全という安心」
の提供

6. DXの推進

DX推進による業務効率化と
サービスの付加価値向上

7. コンプライアンス の徹底

協力会社を含めたコンプラ
イアンス研修の継続実施に
よる従業員の倫理感の醸成



環境負荷低減

2025年度 周南工場への再生可能エネルギーの導入
社用車更新時の一部電気自動車への切替え
2027年度 ペーパーレス化の推進 2024年対比5%削減



品質向上

2026年度 従業員評価制度の導入
2028年度 周南工場業務マニュアル（動画）の整備
2030年度 ボイラー整備士他 10名追加取得



一貫受注体制

2030年度 プラント設備製作の請負高 2024年度比1.2倍
2030年度 一貫受注案件の受注件数 2024年度比1.2倍
毎年1名地域住民の雇入れ



人財

2026年度 やまぐち健康経営認定企業 認定
2026年度 ストレスチェックの実施
2026年度 従業員満足度調査導入と従業員へのフィードバック
2026年度 1on1ミーティングの実施
全従業員のベースアップの継続（2025年 業種平均以上等）



安全・安心

重大事故発生件数0件の維持
労働安全衛生会議の開催継続12回/年
ISO45001 認証継続
年1回協力会社の評価と適宜教育



DX

設計データ・工程表・進捗管理等について、
元請け先とのデータ共有



コンプライアンス

年1回 コンプライアンス・
ハラスメント研修の実施
2026年度 ハラスメント調査の導入

マクロ環境

社会 : SDGsや脱炭素への機運拡大に伴い、化学、先端技術、水素、LNG向け
プラント設備の需要が増加
政治・経済 : 国内は国土強靱化対策やコネクテッド・インダストリーズの提唱により、
国外は大手プラント会社の海外事業拡大により需要が増加
技術 : 少子高齢化による熟練工の減少や定修等のスポットでの業務量拡大により、
全体として人材確保が課題

ミクロ環境

顧客 : 設備需要やマクロ環境（為替、資源価格、地域政治経済や社会情勢）
により受注が安定しない
近年の資機材価格や人件費高騰の価格転嫁
競合先など : 価格競争の激化

「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」について

○特長

・これまでに公表されているサステナビリティ経営に関するさまざまな指標と、日本・地域特有の社会課題、更には企業の理念やビジョン、経営資源、外部環境等を踏まえて作成した当行専用ツール※を使用し、経営者との複数回の対話を通じて、サステナビリティ経営の観点から全体を俯瞰し、その導入・実践に向けて検討すべき重要課題（マテリアリティ）の絞り込みおよびサステナビリティ経営の実践に向けた基本方針の策定をサポートします。

※ サステナビリティ経営コンサルティングに専門的な知見を持ち、地元企業へのサステナビリティ経営導入支援という主旨に賛同いただいた日本経済研究所が作成したツールをもとに、地域課題も踏まえ作成した当行オリジナルのツール

・社内での啓発や社外への情報開示に活用可能な“サステナビリティ経営方針”のデータと、ツールを活用した分析結果を踏まえたフィードバックレポートをご提供します。（ご希望に応じて、本サービス利用にかかる当行からのニュースリリースも可能）

・ご希望に応じて、グループ機能とアライアンスを活用した具体的な計画策定支援や実行支援（別契約）を通じて、サステナビリティ経営の実践・浸透をサポートします。

○サービス概要

取 扱 店	法人取引のある当行の全営業店
対 象 と な る 方	当行と預金取引のある法人のお客さま
サ ー ビ ス 内 容	経営資源や経営理念、外部環境などを踏まえ、経営者との複数回の対話によってお取引先のサステナビリティ経営の主軸となるマテリアリティを特定し、“サステナビリティ経営方針”策定までを支援するサービスで、最終的な成果物として①・②を提供するもの ①策定した“サステナビリティ経営方針”のデータでの提供 （策定した方針は希望に応じて当行ホームページにてニュースリリース可能） ②お取引先のサステナビリティ経営導入・向上の参考となるレポートの提供 経営者との対話やアンケート、専用ツールによる分析過程などを踏まえた10ページ程度のレポートを作成し、フィードバック実施
利 用 手 数 料	1,100,000 円（消費税込）